

海軍功績調査部長殿

第五艦隊機密第四八號ノ三

自昭和十九年十二月一日
至昭和十九年十二月三十一日

一月二日送付

7/10

第五艦隊(第三遊撃部隊)戦時日誌

第五艦隊司令部

- 一 経過
- 二 敵情
- 三 我が軍情況
- 四 作戦指導
- 五 麾下艦船部隊の行動
- 六 人員ノ現狀
- 七 達報告等
- 八 参考
- 九 作戦経過概要

(目次)

(目次終)

自昭和十九年十二月三十一日 第五艦隊(第二遊軍部隊)戰時日誌
至昭和十九年十二月三十一日

一 經過

敵情

「モロタイ」方面ヨリスル基地航空部隊、常續攻襲ト母艦機動
部隊ノ週期的攻襲ニヨル掩護下ニコレイテ東岸地帯ニ據点ヲ
占得セル敵ハ我が特攻隊ノ奮戦ニモ拘ラズ増援補給ヲ強化シ
小型機ヲ推進シテ同方面ノ制空ヲ完成シ十二月下旬「オルモック」
南岸地帯ニ躍進上陸シ我が補給地点ヲ奪取シテ逐次陸上
戦線ヲ圧縮シツツアリ、次デ「タクロバン」方面大型機ノ使用ヲ開
始ス遂ニ十二月十五日機動部隊支援下ニ攻略部隊「スール」
海ニ侵入「ミンドロ」島「サンホセ」ニ上陸ヲ決行シ茲ニ戰鬥ノ中
心ハ更ニ菲島中樞部ニ楔入セラレタリ、亦後同方面ノ補給攻
防ヲ繞リ我が特攻、反復一部水上部隊ノ突入ニヨリ若干ノ
打撃ヲ蒙リタル如キモ着々トシテ新基地ヲ強化推進シテ

北菲方面ニ対スル次期侵攻準備中ナリ、

(一) 菲島方面ニ対スル我が補給増援遮断ニ関聯、菲島西方海面

ニ於ケル敵潜ノ跳込ハ佛印沿岸ト共ニ愈熾烈ノ度ヲ加ヘ尚

佛印方面ニ対シテハ我が艦艇ノ動靜偵察攻夷ヲ企圖セル大

型機ノ行動頻繁トナレリ、

(二) フリシガ方面白人謀者侵入状況

九月下旬潜水艦ニヨリコロンタン島方面ニ侵入セル濠洲兵

一行ハ昭南方面奇襲ヲ企圖セシガ發覺、亦後敗残ノ一黨

ハフリシガ諸島ニ侵入頻々トシテフリシガ泊地周辺ニ出沒

セシモ第十特別根據地隊フリシガ派遣追隊、陸軍及艦隊ノ一

部協力ニヨリ十二月中旬ヨリ或ハ逮捕或ハ射殺セラレ下旬

概不全滅セシコト確實ナリ

(三) 我が軍ノ情況

前月ニ引續キコレイテ方面ニ対スル増援補給ノ為上旬第

八次、第九次多號輸送作戰決行セラレシガ敵ノコオルモソク

上陸作戰ニ遭ヒ亦後増援ハ至難トナレリ、此ノ點

航空部隊ハ死カヲ竭シテ同方面ノ作戰ニ協力多大ノ戰果ヲ收メタルモ間斷ナキ敵ノ熾烈ナル航空攻撃ノ爲漸次無力化スルニ至レリ。斯ノ如キ狀況ニ於テ敵ノ「サンホセ」上陸ニ遭ヒ大ナル反撃ヲ與フル能ハザリシモ一部航空兵力ノ増強ヲ俟チ第二遊撃部隊ノ大部ヲ以テ突入反撃ヲ企圖。十二月二十日禮號作戰トシテ發令セラレ十二月二十六日「サンホセ」突入ヲ行。空海部隊策應シテ同方面ノ敵ニ相背ノ打撃ヲ與ヘタルモ我が航空部隊ノ損害モ甚大ニシテ尔後ノ敵ノ補給作戰ニ對シ徹底セル攻撃ヲ加フル能ハス。

作戰指導

一 編制

十二月一日現在

第五艦隊編制

石足柄

第三十一戰隊

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 第四五驅逐隊 | 第五十二驅逐隊 | 第三十驅逐隊 |
| 第一上陸防隊 | 第五號海防艦 | 第三號海防艦 |
| 五十鈴 | 第九三三航空隊 | |

(2)

四) 十二月一日現在第三遊撃部隊麾下兵力隊番號区分

隊番号	隊名
〇	第五艦隊(合大柄)
一	第五戰隊(合羽黒)
二	第三水雷戰隊(全判霜、清霜、霞潮、初霜)
三	第四航空戰隊(日向、伊勢力)
四	榛名
五	大淀

編制改定

- (一) 十二月五日 第五艦隊ヲ南西方面艦隊ニ編入(天海機系等五〇九番等)
- (二) 十二月九日 日榮九ヲ第二遊撃部隊ニ編入(南西方面部隊電令作第入三六号)
- (三) 十二月十日 第一海防隊(千振等九号海防艦)ヲ第二遊撃部隊ニ編入(南西方面部隊電令作第四五七號)
- (四) 十二月十五日 第十七號海防艦ヲ第二遊撃部隊ニ編入又(南西方面部隊電令作第二四七號)

(五) 十二月二十五日

(1) 三宅屋久ヲ第三上海防隊ヨリ除キ聯合艦隊ニ附屬

(2) 第三上海防隊 第二十三号第四十三号海防艦ヲ第三土戰隊ヨリ除

キ第一護衛艦隊ニ附屬

(3) 笠原ヲ第三上海防隊ヨリ除キ千島根據地隊ニ編入

(二) 21B 八十一月下旬コリンガ^レ回航以來同方面ニ在リテ十二月五日迄ヲ

急速整備^ノ单独訓練ノ期間トシ十二月六日以降本格的訓練

ヲ開始セリ

(三) 七日一〇一五 (一三四五) MSB 電令作第七九六號

21B (戰艦及戰鬥行動ニ支障アルモノヲ除ク) 八至急^ニコアルネ

イニ進出待機スベシ 櫻ヲ一時 21Bニ編入ス

兵御室山丸ハコアルネイニ回航スベシ 師長官ハ在昭南

護衛艦ヲ以テ右ノ護衛ニ任ゼシムベシ

(1) 七日一三〇〇ニ於ケル^ル艦艇ノ行動

(A) 夕足柄 (5羽黒) 49 (日向伊勢) 大淀ハコリンガ^レニアリ

(3)

(B) 朝霜ハ五十鈴 昭南ヨリ「スラバヤ」ニ回航中之ガ護衛任務
ニ從事中

(C) 初霜霞ハ榛名ヲ馬公迄護衛シタル後、昭南ハ取途船
團護衛ニ從事中

(D) 清霜ハ一月九日完成豫定ヲ以テ昭南ニ於テ急速整備中
潮ハ同ジク昭南ニ在リテ片帆航行可能ヲ目途トシ修理中

(E) 右ノ情況ニ於テ及潮ハ之ヲ進出セシメサルコトトシ且「ブルネイ」
連日被空襲ノ狀況ニ鑑ミ進出地ヲ新南群島トシ左ノ通發令

七 一三二六 昭信電令作第三號

各艦在ニヨリ速ニ出雲準備ヲ完成「リカ」泊地ニ集
結スベシ。行動ヲ予定シ報告スベシ

一 羽黒ハ直ニ昭南ニ回航 彈藥ヲ搭載ス
二 清霜ハ極力工事ヲ促進回航

三 朝霜ハ安全地帯ニ於テ搭載物件ヲ五十鈴ニ移載
四 檜ハ急速回航

但シ55(羽黒)ハ昭南ニ回航彈藥搭載中原因不詳ノ浸水ヲ
入渠整備ノコトニ變更

八

一三三五
(二五〇〇)

ASB 電令作第ハ六号

一 ASB 電令作第七九六号及七九七号ヲ取消ス

二 ZVB (戦斗行動ニ支障アルモノヲ除ク) 全部ハ「カムラン」

灣ニ回航待機スベシ ZVB 指揮官ハ行動ヲ予定シ報告スベシ

三 檣ハ故障復旧次第「マニラ」ニ回航スベシ

(3)

電令作受令當時補給船日榮丸ハ「リシカ」御堂山丸ハ昭南ニ

在リシモ護衛艦ノ都合ニヨリ結局日榮丸ハ十一日昭南發十四日

「カムラン」進出ノ予定ニ付 ZVB 出雲ハ最初十日卜決定セラレタル

モ二日繰下ゲノ事ニ変更セラレタリ

一 二〇七〇 ZVB (足柄野(日向行勢)大淀 ZSD (朝霜清霜)「リシカ」

方面出雲

一 四一四〇 ZVB (足柄野大淀 ZSD (朝霜清霜)「カムラン」灣着

一 六一六五 ZVB (足柄野「カムラン」灣偵察報告(敵電話傍受)

(4)

敵機偵察報告状況ニ鑑ミ空襲ヲ予期ス、然モ「カムラン」灣

ハ狭隘ニシテ急速出港回避不能且灣外敵潜艇集ヲ予想セラレ

(4)

(四)

禮號作戦

一七〇八〇〇 2YB「カムラン」湾出撃
 一九三〇 B-25「カムラン」方面空襲
 一九三〇 2YB「サンジャック」着
 二〇〇八一九 NSB 電令作第八三八號
 (二二三〇) 2YB 指揮官ハ在ニ依リ「サンホセ」突入作戦ヲ實施ス
 ベシ 編制及行動ヲ定メ報告スルト共ニ関係
 各部ニ通報スベシ
 指揮官「上」25d 兵力巡洋艦一乃至二隻・駆逐艦
 四乃至六隻
 突入期日十二月二十二日以降ナルベク速ニ夜半突入
 本作戦中襪衫襪ヲ一時2YBニ編入ス

対空警戒上モ四周ニ山近接シ電探利カズ奇襲ヲ受クル計算ナリ
 新南群島ハ長濤大ニシテ補給不能敵潜圍統シアルコト確實
 之ニ対シ「サンジャック」泊地ハ幾分ニテモ右ノ諸條件ヲ満足シ得ルモ
 ノトシテ「韜晦」行動ヲ兼テ同地ニ回航待機ヲ決定セラレタリ

二 船ハ本作戦ニ協カスベシ協カハ主トシテ「サンホセ」附
近艦船ノ日没時頃ノ偵察速報終ニ突入時ノ照
明トス

(1) 右電令作受令時「サンジャック」以外ニアル艦下艦船ノ状況

(A) SS(羽黒)初霜霞ハ被雷損傷セル妙高(三。日三。ノ位置北

緯五度五分東経一。四度四五分)ノ昭南曳航護衛協力中

(B) 潮ハ「ヒ」ニ船團護衛内地ニ回航中

(2) 尚從來ノ戦例ニ徴シ制空権ヲ敵手ニ委ネズ状況下ニ在リテ

強行突入ヲ企圖スル場合巡洋艦ノ参加ノ權利ト認めラレ

霞ニ対シ護衛中止急遽合同ヲ命ズルト共ニ九ノ通發令

二。一六三九 24B 信電令作第 七 號

一 24 司令官第 八 海 (清和相朝霜) 霞 樫 杉 樫ヲ指揮シ

NSB 電令作第 八 三 八 号ニ依ル「サンホセ」突入作戰ヲ

妥具施スベシ 行動子是ヲ報告スルト共ニ關係各

部ニ通報スベシ

(5)

(五)

三日榮丸ハ砲司令官ノ指揮ヲ承ケ「カムラン」灣面航
 突入部隊ノ補給ニ任ズヘシ
 (5) NSB司令部ヨリノ指示ニヨリ突入作戦部隊ニ足柄大渡(各搭
 載機ヲ含ム)ヲ追加尚本作戦部隊ヲ挺身部隊ト呼稱スル
 コトニ定メラル

二 一 一七三〇 邪旗艦ヲ一時日向ニ変更ニ部幕僚ヲ挺身部隊ニ派遣
 二 八三〇 挺身部隊「カムラン」ニ向ケ「サンジャック」出雲

以下挺身部隊ノ作戦経過ニ関シテハ同部隊指揮官所報

二 八 樫杉樫ハ警戒戒部隊ニ復返
 三 〇 一三三〇 挺身部隊「サンジャック」返着
 一 五〇〇 B29機「サンジャック」偵察

敵機ノ偵察状況ニ鑑ミ空襲ノ算大ニシテ且「カムラン」灣外潜伏
 中ノ敵潜約四隻南下蜷集スルハ必然ナリ

次期作戦準備ノ完成ヲ速カナラシムル為 挺身部隊損傷艦
 急速整備 消耗弾薬魚雷ノ補給ノ要アリ 且警戒艦ノ配
 當不如意ヨリ羽黒ノ合同モ見込ムス訓練実施ノ見地ヨリモ

此際一時「リンガ」(昭南)方面ニ回航スレテ至當ト認ム	三〇一七三〇 2YB (49) 足柄大渡朝霜(霞) 昭南(リンガ)ニ向ケコサン
三一〇八二七 (二二二〇)	ジヤソクニ發 聯機空茅三〇八ニ七番電 2YB (昭南(リンガ)泊地)ニ回航急速修理整備ニ從事 スベシ整備期日ハ一月中旬ヲ目途トス
一四〇〇	二警戒部隊指揮官ハ機宜高雄又ハ馬公ニ於テ損 傷艦ノ修理ヲ実施スベシ
一四〇〇	2YB (昭南(49)ハ「リンガ」)着 2YB (昭南(49)ハ「リンガ」)着

6)

職	主	務	官	氏	名	記
司令長官			中將	志摩	清英	
參謀長			少將	松本	毅	
軍醫長			医中佐	赤木	武天	三三(魚)病退院阪部
主計長			主中佐	山本	藤平	
參謀(首席)	一	毅	大佐	天野	盛高	
參謀	機	関	中佐	岩部	六郎	
同	水	番	同	森	幸吉	
同	航	空	少佐	大野	義高	

二人員の現状
 (1) 司令部
 (2) 職員官氏名

(8)

同	同	同	同	同	同	同	司令部附	司令部附兼副官 兼皇海軍軍用郵便 所軍用郵便監督	同	参謀
気象	電探	艦隊主計長輔佐	特務班	暗号士		暗号長			砲術	通信航海
中尉	中尉	主中尉	同	中尉	同	大尉	医大尉	主大尉	同	少佐
圓城寺明胤	平井良親	小松弘	渡部孝男	渡辺三郎	大山雅清	浦田西男	植松俊彦	櫻井正	真閑勝見	津田威徳
					二五 補是補隊長兼看役	三一 補是看任	三三 補是看任			

6690

臨時司令部附	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
掌航海長	飛艇(兼足柄艦長水命)	飛行要務	特務班			特務班		特務班	同右	暗号士		
少尉	野田	宇生	同	同	同	同	同	同	同	少尉	主少尉	
武岡實	宮坂輝人	藤谷政躬	八木橋太古	田中長三	村本正治	吉田長治	大池正二	曾我春小	島田重雄	日下部茂	小松康	田村重男
	三五 命少尉候補上	三五 任少尉		三五 命所司附 未着任	三五 命所司附 未着任	三五 命所司附 未着任	三五 命所司附 未着任	三五 命所司附 未着任				三五 命所司附 未着任

(9)

臨時司令部附	掌 通信 長	少 尉	丸小野哲也	
同	暗 号 士	同	中村克己	三五 赴 任
司令部附	(第一水雷隊司令部兼)	枝中尉	長尾勝行	三五 補予水雷隊司令部附
同	(同)	右少尉	小西喜代治	
同	(足柄艦長承命)	同	立川幸兵衛	
<p>南西方面艦隊軍法會議 議務官(出陣)三浦南堂 艦隊軍法會議議長(出陣)五 第五艦隊軍法會議議長 發官南西方面艦隊司令 司令部附第三南艦隊司令 司令部附第五艦隊司令 司令部附</p>		法中佐	馬場 栗 作	

(一) 陸下艦船總員數

記事	員數	種別
但シ第三海防隊第三工号第四工号海防艦及第九三三空ヲ除キタルモノ	一五四	士官
	一五一	特准下士官
	三二四	兵
	三〇六	其他
	六四	合
	六〇一	計

(二) 下士官兵及其他ノ員數

記事	員數	兵種
転出 兵科二 转入 兵科五 主計科三	八〇	兵科
	三	機関科
	〇	医務科
	七	主計科
	〇	其他
	九	合
	〇	計

(10)

三令達報告等

發元日時	一日一三二〇	令達報告等	潮配逐艦長	五日一九三九	三。軍港第一船渠(昭南)ニ入渠ス。七日出渠。應急修理(左舷機片舷航行)十日頃出港可能ノ見込	一日一三二〇	南隊隊長官	無	三。艦隊司令	南隊隊長官	電	二日一三三〇	南隊隊長官	無	二日一三三〇	南隊隊長官	信	二日一三三〇	南隊隊長官	號
------	--------	-------	-------	--------	---	--------	-------	---	--------	-------	---	--------	-------	---	--------	-------	---	--------	-------	---

<p>二日</p>	<p>機隊第一遊撃部隊司令部第三八號 第一遊撃部隊研究會委員長改正件 (別紙第一)</p>	<p>上五日歸投ス 類書</p>
<p>三〇 一八五五 樫 駆逐艦長</p>	<p>三日 〇九四五 聯合艦隊長 三十一戰隊司令官 南支那部隊指揮官 海護本部 高警官 馬公方面特報 五二</p>	<p>樫 檣 三日 一〇〇〇 高雄發 一六〇〇 馬公着ノ予定</p>
<p>三〇 一〇三〇 五十鈴 艦長</p>	<p>二南支那部隊長 外 畧</p>	<p>ISB電令第三六號ニ依リ本艦五日昭南發 スラバヤニ回航 航喪失ノ終主機械ニテテ単独行動スルニ付 対潜警戒 スラバヤ掃海水道西口迄ニ関シ特ニ御配慮 ヲ得度 行動予定 五日 〇九〇〇 昭南發 六日 一八三〇 〇七三 假泊地發 (以後速力十六節) 3°15'S 假泊 七日 接岸航路 八日 〇七〇〇 一六〇〇 スラバヤ 掃海水道 午後 西口 A 浮標着 111°40'E</p>
<p>領 〇 = 渡 千 長 艦 鈴 十 五</p>	<p>電 無</p>	<p>類 書</p>

四日一〇〇〇 西航戦司令官	四日一三三五 五艦隊長官 五艦隊水士長官	當隊十根リシグ派遣隊ニ向ク「バコング」島東方ニ出現セシ 白人兵(六名「ゴム」浮舟使用)討伐中、処敵ハ三日夕刻 「ブアヤ」島附近ニ追詰メラレ小後「スマトラ」方面ニ逃走 テ根リニ派遣隊ノ走無アリニ飛行機ニテ捜索処分ヲ取計ハレ度	電 無
四日一〇五一 南西方面艦隊長官	四日一六三〇 四日一六三〇 聯合艦隊長官 四十三駆司令官 五艦隊長官	NSB 電令第一二七號 艦ハ速ニ「マニラ」ニ回航スベシ 昭南出港前ナラバ同地ニ於テ 45f ヨリ陸揚セル物件成ルベク多数ヲ搭載「マニラ」ニ 輸送スベシ	電 無
四日一〇五二 由利島	四日一六四八	雷患被害アリ N 1034 E 116°27' 岸波。雷患	電 無
四日二一五七 南西方面艦隊長官	五日〇〇三五 二遊撃部隊 指揮官	GKF 電令第一二七九。號 2B 指揮官ハ妙高及潮ヲシテ機宜昭南發内地ニ回航 修理ニ從事セシムベシ 回航中潮ハ妙高艦長ノ指揮 ヲ受ケ同艦ノ護衛ニ任ズルモノナリ	電 無
五日〇九三四 榛名	五日一九三〇 聯合艦隊長官	當隊(榛名、初霜、霞)十一月五日。九三〇馬公着 草鷹隊ト合同セシム	電 無

<p>二艦隊長官 五艦隊長官 南支那艦隊長官</p>	<p>初霜霞ハ昭南ハ銀堤セシム</p>		<p>電</p>
<p>五日一五四〇 艦駆逐艦長</p>	<p>五日二〇三〇、二〇〇〇故障復旧見込 南支那艦隊長官 着予定 聯合艦隊長官 搭載物件大發ニ度分 五艦隊長官 本艦就役以降未ダ其ノ機会ヲ得ズ 蒸氣漏洩大ニ 外有 略 シテ十六日即以上長時間航行不安ナリ 狀況許サバ 當地方ニ於テ約一週間機関整備ヲ実施致度</p>	<p>六日昭南發九日夕刻「マニラ」</p>	<p>無</p>
<p>五日一七〇〇 三二配司令</p>	<p>六日〇五三〇 五艦隊長官 三水戰司令官 外有 略</p>	<p>初霜霞桐行動予定 六月〇七〇。馬公発十日一八〇。 昭南着 桐七日二〇〇。分離八日一四〇。「マニラ」着 通信系 略</p>	<p>無</p>
<p>五日一七二五 海上護衛 總司令部</p>	<p>六日〇六〇五 海上護衛司令官 護衛船団司令</p>	<p>GT 電令作 第三一六號 GT 電令 第五五五號 閣下 艦ヲ第一海上護衛部隊ヨリ 除ク</p>	<p>無</p>
<p>五日二二三七 南支那艦隊長官</p>	<p>六日一一〇〇 南支那艦隊長官 五艦隊長官 聯合艦隊長官 大海</p>	<p>SHB 電令作 第七九一號 指揮官ハ「カムラン」灣ニ留待機泊地トシテ所要 補給設備等ノ施設ヲ至急心救正備スベシ</p>	<p>無</p>

日 向	日 向	日 向
五艦隊長官 羽黒	六日の一四五	五日一九三〇 第五艦隊長官
<p>機密。五二九一五番電 「セバシカ」島（スナサン）西北方三哩）ニ本五日一〇〇〇白人三名 （3）</p> <p>發見根リニガ派遣隊 宛 第四衛所</p>	<p>日向機密。五二二三〇番電 一掃蕩續行中一〇〇〇ニモ敵影ヲ見ス 昨夜二〇〇頃陸軍哨兵「バアヤ」島西南部對陸岸 ジャングル内ニ隱遁シタル敵ゴム舟艇ニ隻小銃彈 若干ヲ發見押收セリ 右押收品携行品ヨリ判 断スルニ敵ハ同島ニ潜入セシモノ如シ 陸海協力之ガ掃蕩探索中ナリ</p>	<p>出シアラザル見込 四航戰討伐隊ハ一應討伐ヲ打切り昨日二二〇級艦後 陸軍及十根リンガ派遣隊兵力一〇〇名機動艇七隻 小舟十數隻ヲ以テ包圍監視本朝以後掃蕩ノ実施 其ノ後狀況ヲ知ラス 發見第四衛所 宛十根リンガ派遣隊</p>
信	號	信

<p>六日〇七〇〇 二十一號司令</p>	<p>六日〇七四六 第二道連部隊 指揮官</p>	<p>六日一九一五 第二道連部隊 指揮官</p>	<p>六日二八三二 海軍省副官</p>	<p>七日〇七三〇 五艦隊長官</p>	<p>初霜、霞、桐、馬公發</p>	<p>初霜、霞、桐、馬公發</p>	<p>初霜、霞、桐、馬公發</p>	<p>初霜、霞、桐、馬公發</p>
<p>(ゴム舟艇一)出現セル旨、ハゼミ島、美濃勇隊ヨリ報告 以下省略</p>	<p>21B 信令、第三七號</p>	<p>21B 信令、第三七號</p>	<p>21B 信令、第三七號</p>	<p>21B 信令、第三七號</p>				
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>				

<p>七日一〇三〇 梅</p>	<p>七日一二三〇 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>敵艦爆十数機ト交戦中 機庫係 杉小被害アリ</p>	<p>電 無</p>
<p>七日一〇一五 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>七日一二四五 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>NSB 電令作第七九六號 21B 戦艦及戦斗行動ニ支障アルモノヲ除クハ至急心 「アルネー」ニ進出待機スベシ 艦ヲ一時 21Bニ編入ス 「御宇山」ハ「アルネー」ニ回航スベシ 一南遣長官ハ左昭南護衛艦ヲ以テ右ノ護衛ニ 任ズベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>七日二〇九 南西部隊</p>	<p>七日二七三〇 日榮丸 護衛隊</p>	<p>南西部隊電令作第一三一號 日榮丸ハ重油満載上「カムラン」湾ニ回航待機スベシ 西方部隊ハ右護衛ヲ實施スベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>七日一三二六 第三遊撃隊 指揮官</p>	<p>七日一四三四 羽黒清霜 朝霜 極</p>	<p>21B 信電令作第三號 各艦ハ左ニ依リ速ニ出雲準備ヲ完成「リング」泊地ニ 集結マベシ 行動ヲ予定シ報告スベシ</p>	<p>電 無</p>

<p>五艦隊參謀長 〇七四五</p>	<p>七日一五〇 二遊擊部隊 指揮官</p>	<p>七日一五〇 第二遊擊部隊 指揮官</p>	
<p>南洋方面艦隊 海護司令官 南遣長官 細室山丸</p>	<p>五艦隊水士其他 南遣長官 二水政司令官 十特根司令官 九三六航空隊</p>	<p>二遊擊部隊</p>	<p>南洋方面艦隊 聯合艦隊長官 二艦隊長官 二水政司令官 南遣長官</p>
<p>NSB電令作第七九六號 閣下日榮丸ヲ昭南ニ回航セシメ ルニ付 御室山丸ト何レカ早キ方ヲ新南群島ニ進出 ニ取計ヲ得度</p>	<p>21B電令第ニ號 21B水上基地ヲ撤收セヨ 清霜ハEW回航時基地員ノ容收ニ任カベシ</p>	<p>二日令第一號ニ依ルハ日以降ノ予定作業ヲ中止ス 但シ第八作業(防空戦斗放線)ノミハ実施ス 三巡洋艦ニ保管中ノ大發ハ出出當日四航戦ニ移管スベシ 四航戦ハ右大發及「リン」ガ派遣隊ニ貸與中ノ當隊 大發ノ保管長ニ任カベシ</p>	<p>一羽黒ハ直ニ昭南ニ回航 彈藥ヲ搭載ス 二清霜ハ極力工事ヲ促進 回航 三朝霜ハ安全地帯ニ於テ搭載物件ヲ五十鈴ニ移載 四橙ハ急速回航</p>
	<p>電 兼 號</p>	<p>信</p>	<p>電</p>

<p>七日 一五〇七 二遊東部隊 指揮官</p>	<p>七日 初霜 聯合艦隊長官 外 聯合艦隊長官</p>	<p>27B 電令作第五號 27B 電令作第四號ヲ取消ス 初霜、霞段ハ高雄ニ於テ補給、上十日夕刻迄ニ新南 群島 長嶋泊地ニ進出待機スベシ</p>	<p>無電</p>
<p>七日 一六三〇 二一駆司令</p>	<p>七日 二二四五 五艦隊長官 二水戰司令官 二海護司令官 聯合艦隊長官</p>	<p>情執カノ変化ニ依リ 27B 電令作第四號ニ依ル護衛 任務ヲ止メ急據「ブルネイ」ニ回航 十日夕刻着 予定</p>	<p>無電</p>
<p>七日 二〇〇九 二遊東部隊 指揮官</p>	<p>聯合艦隊長官 三十一戰隊員官 五戰隊司令官 二水戰司令官 二南遣長官 二海護司令官</p>	<p>27B 電令作第六號 一 檣、EW 回航ヲ取止ム 二 檣ハ現ニ昭南在泊ノ際ハ 27B 待機地点進出ノ油槽船ノ 護衛ニ從事シ MM 回航中ナラバ MM ニ回航スベシ</p>	<p>無電</p>
<p>七日 二一〇〇 二駆司令 (朝霜)</p>	<p>八日 二四〇四 遊東部隊 指揮官</p>	<p>NSB 電令作第七九六號及檣機密〇五二四五〇番電 二對シ 27B 電令作第六號ノ通致令サレタリ 護衛ヲ取止メ及軛 七日二〇〇〇ノ位置 南緯五度四五分 東經一〇八度二一分ヲバンカ海峡ヲ經テ八日二〇〇〇リガ</p>	<p>無電</p>

<p>南西方面部隊 指揮官</p>	<p>南西方面部隊 指揮官</p>	<p>泊地着ノ予定 風波大ナル爲五十鈴ハ物件(爆雷五〇個)移載ハ取 止ム</p>	<p>電</p>
<p>七日 二二〇一 南遣長官</p>	<p>八日 〇〇四五 海上護衛部隊 五艦隊長官 南西方面艦隊 長官</p>	<p>外機密〇七二四五番電開朕在昭南護衛艦ハ一南遣三隻 (修理中十二月十日出港可能)一南遣護衛艦四隻(七二 船團護衛ノ予定)及修理中ノ二隻ノ實情ニ付進出 準備完成シタル御宝山丸ヲ新南群島ニ進出セシム トス 護衛ハ七二八三船團ヲ出港ヲ延期シ右護衛ノ電 内ニ直又ヲ云九當差支ナキヤ至急返</p>	<p>無</p>
<p>八日 二三五 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>八日 一五〇〇 遊撃部隊 指揮官 南遣長官 三八航戰司令官 南西方面部隊 各長官司令官 聯合艦隊長官</p>	<p>NSB電令作第ハ〇六號 NSB電令作第七九六號及同七九七號ヲ取消ス 二YBN(戰闘行動ニ支障アルモノヲ除ク)全部ハ「カラン」灣 ニ回航待機スベシ 二YB 指揮官ハ行動ヲ予定シ報告スベシ 三機ハ故障復旧次第「マニラ」ニ回航スベシ</p>	<p>無</p>
<p>八日</p>		<p>機密第二遊撃部隊命令作第六號 EW 出妻 FFR 回航要領 一別紙 第二</p>	<p>書</p>

<p>八日一九。九 南運參謀長</p>	<p>八日一六。二九 艦隊長官</p>	<p>八日一四。一五 三主配司令</p>	<p>九日一五。三五 海軍衛隊長官</p>
<p>八日二一。〇〇 南運方面艦隊長官</p>	<p>艦隊</p>	<p>九日。三四。五 支隊隊長 南西方面部隊 指揮官 水戰司令官</p>	<p>九日二一。三〇 海護司令官 海護隊長官 五艦隊長官 南運方面艦隊長官 南運長官</p>
<p>日祭丸護衛艦、都合ニ依リ十一月十一日昭南發ノ予定</p>	<p>二YB (潮欠) 八日早朝當地出雲「カラン」湾ニ進出待機ス 三日令第一號ニ依ル八日以降ノ予定作業ヲ取止ム</p>	<p>初霜霞十一日夕刻昭南着ノ予定トセバ予定修理工事ノ外各艦電路關係(短波送信機(初霜)及電波探信機故障ヲ含ム)及船体ニ若干ノ被害アリ 行動ニ関シ指示ヲ得度</p>	<p>GF電令作第三一九號 第一海上護衛部隊指揮官、在昭南麾下艦艇二隻ヲシテ御宝山丸又ハ日祭丸、新南群島又ハ「カラン」湾ニ進出時護衛ニ協力セシムベシ 三省 略</p>
<p>無</p>	<p>號</p>	<p>信</p>	<p>電</p>

<p>八日二一五八 二遊軍部隊 指揮官</p>	<p>八日二一二七 二遊軍部隊 指揮官</p>	
<p>南西方艦隊 長官 二一記司令 東通十通 二艦隊長官 一特根司令官</p>	<p>五戰隊司令官 南西方艦隊長官 聯合艦隊長官 二艦隊長官 一南遣長官 大海參一部長</p>	<p>二遊軍部隊指揮官 日禁九官 一海護司令官</p>
<p>21B 電令作第七號 21B 足柄 45f 25d (朝霜清霜) 大淀 二基キ 十日。七。EW 出垂左ニ依リ (附入泊時要補給量五〇〇屯 所要時間二十時間) FEN NSB 電令作第八。六號 FEN 進出待機ス 十日一六〇〇 2°01' 104°-37' 十日〇六〇〇 5°58' 105°-55' 十日〇一〇〇 9°55' 110°-28' 一三〇〇 FEF 着 108°-38' 二夜段、初霜、十二日日出頃(出来得六十一日夕刻迄ニ) 當隊ニ令同スル如ク行動スベシ</p>	<p>21B 電令第三號 羽黒ハ「昭南」ニ於テ入渠修理ニ従事スベシ</p>	
<p>電</p>	<p>無</p>	<p>電</p>

BT20

<p>九日一六四六 三遊軍部隊 指揮官</p>	<p>九日一四四三 五艦隊參謀長</p>	<p>九日一四四二 南西方面艦隊長官 二一電司令 霞東通十通 三艦隊長官 二水戰司令官 十一特根司令官</p>	<p>九日〇八二九 鎮 九日一二二〇 五艦隊長官 聯合艦隊長官 南西方面部隊 指揮官 三十一戰隊司令官 佐鎮 長官</p>	<p>迎報 P 師 大海 部長 P IKF P 10aBq P 935fg P 5S</p>
<p>白沙 南西方面艦隊長官 21B 信電令作第4號 白沙八十二日以後 昭南二回航待機シ 艦隊所居艦艇ノ</p>	<p>南西方面艦隊長官 一南造長官 十一特根司令官 日榮ノ、附着ハ十四日ノ、ナル見定ニキ當隊出雲ヲ二日 線下ケラレタリ</p>	<p>21B 電令作第7號 一21B電令作第7號、第一項ノ日程ヲ二日宛線下ケ 二初霞、霞ハ特令アル迄新南群島ニ待機スベシ 通報中 師 大海 部長、P IKF P 10aBq P 935fg P 5S</p>	<p>本艦〇二〇。女島燈台六〇度三〇。運ニ於テ艦首ニ被害 （一本）セルモ自力航行ヲ以テ一〇〇。長崎着 被害調査 後 佐々守ニ回航ノ予定</p>	<p>無</p>
<p>信</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>無</p>

<p>十二日 一四七 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>十二日 一三五 榛名艦長</p>	<p>十日</p>	<p>九日 一九二五</p>	
<p>十二日 二二四〇 桃 高橋長官 馬公工作部長 東三 砲台司令 通</p>	<p>十三日 〇四〇 五艦隊長官 聯合艦隊長官 二艦隊長官 東通 吳通 佐通</p>		<p>二十一 記司令 南西方面艦隊 二艦隊長官 東水 戰司令官 通</p>	<p>聯合艦隊長官 南西方面艦隊長官</p>
<p>NSB 電令作第八一五號 桃 八馬公二回航修理ニ從事スベシ</p>	<p>榛名 涼月、夕月、吳着 宛 大臣、總長、吳鎮長官、佐鎮長官</p>	<p>機密第三遊撃部隊命令第四三號 附泊地警戒實施要領 (別紙 第三)</p>	<p>218 電令作第九號 初霜 霞 八十三日一二〇頃當隊ニ合同スベシ 通報 中師、大海參一部長</p>	<p>修理ニ從事スベシ</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>類 書</p>	<p>電 無</p>	<p>號</p>

<p>十三日〇九二 南軍司令部 指揮官</p>	<p>十三日〇二三五 水戰司令官 海護司令官</p>	<p>NSB 電令第一三八號 2/B 指揮官ハ麾下 駆逐艦一隻ヲシテ 日榮丸 間宮</p>	<p>無</p>
<p>十三日〇三〇 百四十號 輸送艦</p>	<p>十三日一五三五 輸送隊司令官 多摩水戰隊 三十一特根司令官</p>	<p>桐 SB 一四〇〇三三〇、位置「ロンブシ」水道一八〇マニラ入港ノ 予定 西艦共辛シテ 自力航行中 夕月ノ乗員ハ 西艦ニ 收容ス</p>	<p>電</p>
<p>十二日一六四六 南軍司令部 指揮官</p>	<p>十三日〇四一〇 水戰司令部 聯合艦隊長官 輸送隊</p>	<p>NSB 電令作茅八八號 第十次多號輸送作戰期間中、水戰ノ 駆逐艦一隻ヲ護送 部隊ニ一時編入ス 右 駆逐艦ハ 十二月十四日一二〇迄 「マニラ」ニ 回航セシムベシ</p>	<p>電</p>
<p>十三日一四〇七 三十一戰隊 司令官</p>	<p>十三日〇二五五 聯合艦隊長官 南軍司令部 五艦隊長官 一艦隊長官 二艦隊長官 三十一戰隊長官 高發言 長官 佐鎮 長官</p>	<p>第三十一戰隊司令部 (鷓園少將外准士官以上七名 下士官兵 一名) 左ニ依リ 進出 (月日着地名順) 十二月十四日 羽田発 福園 十五日 台北 十六日 マニラ 使用機 輸送機 三</p>	<p>電</p>

<p>十四日二〇五四 桃</p>	<p>十四日一〇三九 南方面部隊 指揮官</p>	
<p>十五日一四三〇 南方面艦隊 長官 四十三駆司令部 海護司令官 航空部隊 （菲島北部隊）</p>	<p>十四日一三三〇 第二遊撃隊 指揮官 聯合艦隊長官 水戰司令部 大連</p>	<p>二遊撃隊指揮官 間 聯合艦隊長官 西貝方面第八 護衛船團司令</p>
<p>〇八四五三十一四三〇迄四回二回リ敵艦上機約五十機トノ交戦ニ依リ戦果撃墜五機轟破若干被害直撃弾ニ至近弾十数發第一鐘室及前機使用不能直接操舵可能通信装置水測兵器全部故障火災浸水各數ヶ所（消火遮防済）魚雷放棄戦死准士官以上一名下士官兵二九名重傷者計二三名軽傷者計八名出シ得ル最大速力一四ノ節ナルモ蒸化器破損ニヨリアト航続時間四時間ナリ我ハスピック灣内ノ黄緑丸、駆潜六一</p>	<p>NSB電令作第八二三號 敵攻果部隊（CX3CX4中型TX35上陸用舟艇X80）〇七四五ノ位置置「ハコロト」ニ四五度一六〇ノ針路三三〇度 P27B八麾下兵カラ率斗速ニ戰鬥準備完成ノ上新南群島方面ニ進出スベシ NSB電令作第二三八號ニ依ル間官日米丸ノ護イ任致カラ解ノ</p>	<p>「マニラ」回航中ノガ護衛ニ任ゼシムベシ</p>
<p>電</p>	<p>無</p>	<p>電</p>

8770

<p>十四日 一五三一 南西方面艦隊 参謀長</p>	<p>十五日。三二五 四十三記司令</p>	<p>十五日</p>	<p>十四日 二三三二 南西方面艦隊 長官</p>	
<p>十四日 一七二五 三三三部隊指揮官 三十一戰隊司令官 二水戰隊司令官 聯合艦隊長官 大連方面艦隊長官</p>	<p>十五日 一四〇〇 梅 南西方面艦隊長官</p>		<p>十五日 一三一〇 梅 二遊部隊指揮官 二遊支隊長官 四十三記司令官 聯合艦隊長官 十四航艦長官</p>	
<p>2YBヲ以テ突入作戰ヲ實施シ場合四十三記遠隊(梅樵)杉樵ヲ2YBニ編入セシメラルル予定</p>	<p>杉樵ノ出港進出ニ付梅、先行予定、如ク行動セヨ</p>	<p>第二遊部隊命令作第七號 師出雲新南群島進出要領 (別紙 第四)</p>	<p>NSB電令第三三九號 梅、香港ニ回航入渠修理ニ從事スベシ 通報 第二工部部長</p>	<p>修理後清水補給明十音未明送ニ「マニラ」ニ回航セントス 航港六〇同航、予定</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>類 書</p>	<p>電 無</p>	

09

GT70

<p>十四日二二。五 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>十四日二三。〇 平三記司令 樞樞 聯合艦隊長官 遊撃隊 指揮官</p>	<p>NSB 電令作第八二六號 梅（修理完成次第）杉樞樞ハ平三記司令之ヲ指揮シ 遊ニ新南群島ニ回航 21Bニ令同待機スベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日。四二一 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>十五日。四五二七 非向部隊 聯合基地空 遊撃隊 聯合艦隊長官 大海</p>	<p>NSB 電令作第八二七號 本一五日敵攻略部隊「マニラ」方面未攻ノ算アリシ作戰 第二法用意「マニラ」方面陸戰 配備ニ就ケ 21Bハ決戰用意</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日。六五五 六三四航空隊</p>	<p>十五日。九五。〇 南西方面部隊 各長官司令官 聯合基地空 コニク 戰鬥司令</p>	<p>「ミンドロ」島「サンホセ」「マンガリン」中間敵輸送船団三。隻又 以上上陸ヲ開始ス 附近天候良好（。五三。水爆偵察）</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日。七。五 六三三航空隊</p>	<p>十五日。一一。〇 南西方面部隊 聯合基地空 各司令官 （司令官）</p>	<p>敵方ハ巡洋艦艇隊約二〇隻輸送船高速魚雷艇三。隻 上陸開始（「ミンドロ」島「サンホセ」）</p>	<p>電 無</p>

<p>十五日〇九二一 南方面艦隊 参謀長</p>	<p>十五日〇五九 二遊撃部隊 指揮官 清月 四航戦司令官 三水戦司令官</p>	<p>2YB電令作第一〇號 閣下 敵 KDB「マニラ」空襲 茲ニ敵水上 部隊「ミンドロ」西方海面行動ノ情況ニ鑑ミ清霜ハ「マニラ」 回航補給ヲ取り止メ直接 2YBニ合同セシムルヲ可ト認ム</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日〇九四三 南方面部隊 指揮官</p>	<p>十五日〇四三 二遊撃部隊指揮官 四十三駆司令官 聯合艦隊司令官 大海</p>	<p>NSB電令作第八二八號 敵情ニ鑑ミ 2YBハ持令アル邊「カハラン」附近ニテ待機ハコト ニ致ム</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日〇五四 二遊撃部隊 指揮官</p>	<p>十五日〇二五 二駆司令官 南方面艦隊長官 十一特務司令官 三需部長官</p>	<p>2YB電令作第二二號 清霜ハ十五日夕刻以後「マニラ」入港急速補給ノ上「カハラン」 灣ニ回航當隊ニ合同スベシ 行動予定ヲ報告スベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>十五日〇二三七 南方面艦隊 長官</p>	<p>十五日〇三八 相四十三駆 五艦隊長官 聯合艦隊長官 三需部長官</p>	<p>NSB電令第一四一號 桐ハ十五日夕刻「マニラ」發兵ニ回航修理ニ從事スベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日〇八四七 南方面部隊 指揮官</p>	<p>十六日〇二〇 二遊撃部隊 指揮官</p>	<p>2YBN3B電令作第八三〇號 2YB指揮官ハ麾下艦船ヲシテ機宜妙高ノ救援ニ任</p>	<p>電 無</p>

<p>十六日。八三五 南西方面艦隊 長官</p>	<p>十六日。八五九 南西方面艦隊 参謀長</p>	<p>十六日。四二二 南西方面艦隊 参謀長</p>	<p>十六日。四二二 南西方面艦隊 参謀長</p>
<p>聯合艦隊長官 一南遣長官 妙高</p>	<p>十六日。四一〇 四十三駆司令 二海軍少隊指揮官 聯合艦隊長官 大連海軍少隊 聯合艦隊長官 杉</p>	<p>十六日。二一〇 四十三駆司令 二海軍少隊 指揮官 二海軍少隊 指揮官 二海軍少隊 指揮官 二海軍少隊 指揮官</p>	<p>十六日。八。五 四十三駆司令 二聯合基地空 五船長官 聯合艦隊長官</p>
<p>電 セシハシ</p>	<p>電 GKF電令作第ハニ九號 四十三駆司令ハ杉樫樵ヲ率テ明十七日夜半「サンホセ」 「ミンドロ」ニ突入敵艦艇船舶ヲ奇襲スベシ 予定ヲ報告スベシ</p>	<p>電 師偵察報告ニ依リ十五日。七。〇頃「サンホセ」沖ニ在リト 報セラレタル空母艦又ハ巡洋艦五隻駆逐三隻及至四隻 寫真判讀ノ結果ハ大部ハLCI(約三〇噸級)十数隻 LS(約三〇噸級)多数中型輸送船及駆逐艦魚雷 艇等ニシテ戰艦空母ト報セラレシモノハ大巡二隻ハ 駆逐艦四隻ナルコト判明セリ尚「サンホセ」海軍工廠行動中</p>	<p>電 「サンホセ」突入作戰當方腹案左ノ通 「ミラ」ニ向テガ如キ航路ヲ執リ日没時「ブスアンカ」島 北端無線標識西方約八十哩ニ達シ尔後同島ヲ背景ニ トシツク。サンホセ泊地ニ侵入砲撃ニ依リ在泊 艦船ヲ攻撃</p>

<p>十六日</p>	<p>三歸路、急様西方ニ退退自出特「アスア」ガ島北西海面ヲ機宜行動ノ上夜間「マニ」入港補給 三情況許ス限リ突入日薄暮時航空機ヲ以テ「サン」セ在泊艦船ノ偵察速報ヲ行フト共ニ駆逐隊ノ突入時照明彈投下等ニ依リ協力ス</p>	<p>電</p>
<p>十六日</p>	<p>機密第二遊撃部隊法令第四號 第二遊撃部隊運動準則 (別紙第五)</p>	<p>書類</p>
<p>十六日一〇〇〇 潮起逐艦長 外畧</p>	<p>十六日二三三〇 十一持根司令官</p>	<p>電無</p>
<p>十六日一一五五 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>十六日二三三〇 三遊撃部隊 非島部隊 聯合基地空 南西方面部隊 各長官司令官 聯合艦隊長官 大海</p>	<p>電無 電令作第八三一號 電令作第八二七號ニ依ル警戒ヲ解ク (上作戦第二法用意 2YB決戦用意ノ件)</p>

12/1

<p>十六日一四三一 五戦隊司令官 (羽 黒)</p>	<p>十六日一九三〇 五艦隊長官 南西方面長官 聯合艦隊長官 海軍總務部長官 二南遣長官 二艦隊長官</p>	<p>羽黒十六日出渠、十七日需品搭載、十八日出渠可能、護衛艦二隻、配應ヲ待度、尚營港在泊中、千振(二十日出渠可能、十六日即可)一。二哨戒艇(完備)ハ去九當可能ト認ム</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日一八四四 三遊軍部隊 指揮官</p>	<p>南西方面長官 聯合艦隊長官 二艦隊長官 大海參謀長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官</p>	<p>20電令作第一二號 本日B24ニ依ル被發見報告ニ鑑ミ當隊明十七日〇八〇〇出港一應港外ニ避退ス 21(初霜)及霞ハ日祭丸指揮官、指揮ヲ受ケ同艦ノサンヂヤック回航護衛ニ任ジタル後十一特根司令官ノ命ヲ承ケ妙高ノ救援ニ從事スヘシ</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日一七〇〇 五艦隊長官</p>	<p>十一特根司令官 南遣長官</p>	<p>一六一五B24一機、所泊地偵察、基地宛發見報告セリ (電話五四五五Kc)</p>	<p>電 無</p>
<p>十七日〇〇五五 五艦隊長官</p>	<p>妙高 カハラシ基地 南西方面長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官 一南遣長官</p>	<p>日祭丸(護衛艦、初霜、霞)左ニ依リ行動ス 村潜哨戒ニ関シ配應ヲ得度 十七日〇八〇〇カハラシ灣発 中略 十八日〇一〇〇「サンヂヤック」着速力 三、五節</p>	<p>電 無</p>

<p>十七日一〇三五 梅沢速雄長</p>	<p>十七日一七九〇 南西方面長官 梅沢速雄長 四十三號司令 五艦隊長官 北合艦隊長官 三支部長官 二支部長官</p>	<p>荒天ノ為船体強度ニ不安ヲ感シ三亞ニ避泊ス 三。三亞着天候ノ恢復ヲ待テ香港ニ回航ノ予定</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日一九四〇 十三號司令</p>	<p>十六日二〇二八 南西方面長官 梅沢速雄長 四十三號司令 五艦隊長官 北合艦隊長官 三支部長官 二支部長官</p>	<p>「サンジョ」夜艦船ヲ航行助予定在ノ通 十八日一九〇。北緯一三度〇分東經二八度四三分以後 「フスマンガ」北方ヲ經テ十九日。一〇〇。「サンホセ」ニ 穴入</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日二〇二九 四十三號司令</p>	<p>十六日二〇五〇 南西方面長官 梅沢速雄長 四十三號司令 五艦隊長官 北合艦隊長官 三支部長官 二支部長官</p>	<p>各艦出シ得ル最大速力ニシテ即杉砲術長通信士缺員 中魚雷斜進発射不能 櫃（二隻）發射射撃指揮装置 及転輪磁気共誤差大浸水多少アリ 空三号ノ使用不能 燈電話機使用不能 羅針儀不良 右御令々置置カレ 度</p>	<p>電 無</p>
<p>十六日二〇三〇 五艦隊長官</p>	<p>十六日二〇三〇 南西方面長官 梅沢速雄長 四十三號司令 五艦隊長官 北合艦隊長官 三支部長官 二支部長官</p>	<p>貴機密一六一九三一番電関联 本艦二一〇三「サンゲヤック」 着今夜燃料補給明早朝出港ノ予定「プロコンドル」</p>	<p>電 無</p>

(22)

<p>五戦隊司令官 南西方面艦隊長官 一岸遣長官 水戦隊司令官 聯合艦隊長官</p>	<p>十七日〇〇三 十七日〇二五 十七日〇三五</p>	<p>以北逆風一三米以上アリ右舷ニ損傷部外板相當ノ 屈伸ヲ起シ補強ヲ加ハシルモ尚重油タンクニ漏洩ヲ 生ゼリ且右舷機ノミ使用可能ノ本艦ニテハ妙高ヲ當 地迄曳航ノ見込ナシ(保針困難)健全ナル艦派遣 ニ関シ更ニ御考慮ナリ度</p> <p>NSB 電令作第八三四號 NSB 電令作第八二九號中 十二月十七日ヲ十二月十八日ニ改ム</p>	<p>電</p>
<p>南西方面艦隊 聯合艦隊長官 聯合基地空</p>	<p>十七日一〇四二 十七日一三〇〇</p>	<p>5F機密第一六一八二五關朕 218 行機位置ハ諸情況考慮ノ上當分「カムラン」湾トセラ ル内意ニ付特ニ左ニ留意アリ度 戦況ニ應ジ急遽作戦セシメラルルトアルベキニ付教備訓 練ヲ促進シ情況即應ノ態勢ニアルコト 大陸方面ヨリスル敵機来攻ハ支那方面打通作戦ノ結 果偵察程度ト思考セラル(リンガ方面モ同様)常ニ 警戒ヲ嚴ニ遺棄ニ遺憾ナキヲ期スルコト</p>	<p>無</p>
<p>十三駆司令官 五艦隊長官</p>	<p>十七日一四三三 十七日一九〇〇</p>	<p>艦一六〇〇給水ポンプ復旧ノ見込立タズ出シ得ル最大 速力二一節若天ノ為各艦共ニ船体兵員等ハ主トシテ</p>	<p>電</p>

<p>十九日。一五一 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>一九。九五五 南西方面部隊 長官</p>	<p>菲島方面 當方面作戰方針ハ左記ノ外十二月四日附 非島方面作戰指導要領ニ依ル 航空部隊ヲ以下極力「ミンドロ」島方面ニ対シテ敵増援</p>	<p>無</p>
<p>十九日。一三七 南西方面部隊 指揮官</p>	<p>聯合基地空 三陸軍部隊指揮官 三陸軍部隊長官 六三四 海</p>	<p>NSB 電令作第ハ三五號 NSB 電令作第ハ二九號ニ依ル「サンホセ」突入作戰ヲ見 合ス 樫、杉ハ ZYBニ合同スベシ</p>	<p>電</p>
<p>八日。一七五 遠東部隊 指揮官</p>	<p>南西方面長官 五戰隊長官 土將根司令官 南遣長官</p>	<p>七〇機突見ノ情報ニ接シ灣外ニ回避一九三〇入泊 ZYB 足柄 48f 大浪 280 (朝霜、清霜) 一五〇〇補給ノ爲 「サンヂヤク」ニ到着セントコロ同地北方三〇〇料敵機</p>	<p>電</p>
<p>南西方面部隊 長官 聯合艦隊長官</p>	<p>電路關係ニ若干被害アリ 杉ノ兵器ノ現状トモ併セ考 ハ此ノ情況下ニ突入スルモ成功ノ算極メテ渺シト認ム 一時「サンヂヤク」附近ニ入泊極力故障復旧ニ努メシ トス</p>	<p>風向東地 一四〇〇 位置 N12-0 E110-30 風速二十七米 波浪極メテ大</p>	<p>電</p>

(23)

<p>二十日〇八一九 南四方面部隊 指揮官</p>	<p>二十日 二十日</p>	<p>二十日一二三〇 二遊雲部隊 聯合基地空 聯合艦隊長官 二水戰司令官 杉樫樞 六三四</p>	<p>三南軍各 長官司令官 三十一戰隊 聯合艦隊 聯合艦隊 聯合艦隊 聯合艦隊</p>
<p>NSB 電令作 第八三八號 21B 指揮官ハ左ニ依リ「サンホセ」突入作戰ヲ実施スベシ 編制及行動予定ヲ定メ報告スルト共ニ關係各部隊ニ 通報スベシ 指揮官 二水戰司令官 兵 力 巡洋艦一乃至二隻以 駆逐艦四隻至六隻</p>	<p>補給、遮断、同支援KOB、上空茲ニ「サンホセ」方面敵航空 基地ノ制圧及使用封止ニ努ム 二YB及318通時「サンホセ」附近在泊中茲ニ増援中ノ敵 艦艇船舶ヲ奇襲攻撃ス 三、心ソシ島方面各要地ノ防備ヲ急速強化敵攻畧部隊 素攻ノ際ニ備フ 四、「ロリガエン」湾以北ニ於ケル補給基地急速整備 五、陸軍ニ於テ中非方面ニ増援作戰ヲ行ノ場合ニ於テ 作戰支援ニ遺憾ナキヲ期ス 機密第二遊雲部隊法令第五號 第二遊雲部隊警戒航行序列（輪形陣ヲ含ム） （別紙 第六）</p> <p>電 書 類</p>		

<p>二十日 一六三九 二遊撃部隊 指揮官</p>	<p>二十日 一八〇〇 二遊撃部隊 隊長</p>	<p>2YB 信電令作第七號 2sd 司令官ハ (清野、朝香) 霞権、核撃ヲ指揮シ NSO 電令作第八三三號ニ依ル「サンホセ」突入作戦ヲ突 施スベシ 行動予定ヲ報告スルト共ニ關係各部隊 通報スベシ</p>	<p>無</p>
<p>二十日 一五〇三 霞 駆逐艦長</p>	<p>二十日 一八一五 二遊撃部隊 指揮官</p>	<p>二十日 二二〇〇「カキ」着目ヲ予定 天候恢復セバ、港早マル見込</p>	<p>電 無</p>
<p>二十日 一三五七 二遊撃部隊 指揮官</p>	<p>二十日 一三一八 二遊撃部隊 司令官</p>	<p>2YB 電令作第一四號 霞ハ妙高ノ核難作業ヲ止メ速ニ「サンヂヤック」ニ級投 スベシ</p>	<p>電 無</p>
		<p>突入期日十二月三十一日以降トシテ速ニ夜半突入 本作戦中 杉樫権、榎ヲ一時 2YB ニ編入ス 二 本本作戦ニ協力スベシ 協カハ主トシテ「サンホセ」附 近艦船、日没荷役ノ偵察速報並ニ突入時ノ照明 トス</p>	<p>電</p>

(24)

<p>二十日 二四二 南西方面艦隊 參謀長</p>	<p>二十日 二四〇 二遊東部隊 司令官 大令艦隊長官</p>	<p>二十日 一四三三 五艦隊 參謀長</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>
<p>二十日 一四三三 五艦隊 參謀長</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>
<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>	<p>二十日 一八二五 南西方面艦隊 十一特務司令官 南遣長官 日榮丸</p>

大海一部長
二日 日榮丸ハ司令官ノ指揮ヲ受ケ「カムラン」灣ニ回航
突入部隊補給ニ任ズベシ

海一カマラン灣ニ回航 日榮丸ノ2Sdニ対スル
補給終了後同船ノ「サンチャック」級投ノ護衛ニ任セ
シラレ度 尚他ニ一隻護衛艦ノ配慮ヲ得度

21B 電令作第七號ハNSB 電令作第八三號ニ違反特令
又ハ特種事情ナキ限り命令通實施ノコトニ取計ハレ
度

一 本職ノ挺身部隊(霞樵)ヲ率テ二十日一八〇〇
當地発脚ニ回航ス(航路予定別令)

二 日榮丸樵艦ハ當隊信令第一六號所定ニ依リ行
動スベシ但シ脚着日時ヲ二十二日一六三〇乃至一八〇〇
ノ間トス

三 當隊信令第一六號ヲ取消ス

21B 旗艦ヲ一時日向ニ変更ス

無電

無電

無電

三吉 二三二
三水 戦司令官

三遊兵部隊
指揮官

三十一 通

三行 隊司令官

三東 通

三礼号 作戦部隊

礼号突入作戦ハ左ニ依リ決行ス

三隊之分 (部隊指揮官兵力)

第一挺身隊直率 霞旗艦 2隻 (清霜朝霜) 艇

杉 檣

第二挺身隊 足柄艦長 足柄大波

三突入日時

第一案 X日二三〇〇

第二案 X日〇六〇〇

(註) (一) 特令ナケレバ第一案示

(二) X日ハ二十六日ト予定スル元前日及當日午前
敵情ニ依リ突入不適ト認めル場合ニ十七日
ニ延期スルコトアリ 此ノ場合予定変更ハ二十六日
? 送ニ報告通報ス

三行動概要

二十四日 九〇〇 出島

二十五日 一一〇〇 A点 (N 15°00' E 12°00')

(25)

電

無

1870

<p>二十五日一〇三 五戰隊 司令官</p>	<p>二十五日〇三 五戰隊 司令官</p>	
<p>二十五日一三四五 三行軍部 指揮官 南西方面 指揮官</p>	<p>二十五日一二三五 九艦隊長官 一艦隊長官 二艦隊長官 三艦隊長官 四艦隊長官 五艦隊長官 六艦隊長官 七艦隊長官 八艦隊長官 九艦隊長官 水戰司令官 護衛隊司令官 十一村林司令官</p>	
<p>羽黒、昭南着夕刻出惠可能 警戒艦都合出来 次第合同ス</p>	<p>妙高ヲ曳航 羽黒、初霜。二三。昭南港外着</p>	<p>二十六日七〇〇 一三〇〇 B点 (N15°0' E116°-48')</p> <p>二一〇〇 C点 (N13°-26' E117°-16')</p> <p>二三〇〇 D点 (N13°0' E120°-34')</p> <p>復航急速西方離脱 直航脱投</p> <p>四攻無目標</p> <p>(海上兵力、上陸用舟艇及陸上集積所順)</p>

<p>二十五日 一五二五 三遊軍部隊 指揮官</p>	<p>二十五日 一六二三 五戰隊司令官 南西方面長官 南遣長官</p>	<p>NSB 電令作第一五號 SS (羽黒) 公特令スル迄 ES 又ハEWニ於テ待機 スベシ</p>	<p>電 無</p>
<p>二十六日 一九〇五 三十一戰隊 司令官</p>	<p>二十六日 二二二一 三遊軍部隊指揮官 四戰隊司令官 南西方面長官 土將根司令官</p>	<p>五十二配遂隊 (機檢) ラ率牛ヲカムラン 湾着 NSB 電令作第一五一號 關聯 補給ニ関シ 指示ヲ得度</p>	<p>電 無</p>
<p>二十六日 一六二五 一海防隊 司令</p>	<p>二十六日 二〇三〇 二遊軍部隊 指揮官 外省署</p>	<p>一第海防隊ハ二十四日一八〇 SS (羽黒) ノ護衛ヲ止メ 二三〇 昭南着 二今振ハ修理残工事ヲ行フ 二十九日出要準備完了 ノ予定 三治一九六 昭南ニ入港直後ハ渠修理ヲ実施セシメ度 (川安日数四日間ノ見込) 一〇一工作部 了解済</p>	<p>電 無</p>
<p>完 NSB 指揮官</p>		<p>126</p>	

二十九日〇三〇
二水戰司令官

二遊軍部隊
指揮官

聯合艦隊
長官

三十一戰隊
司令官

五十二戰隊
司令官

通報大海參(部長) 一〇二工作部長

禮號作戰挺身部隊損傷艦主要被害狀況

(一)人員 (二)船体 (三)兵器 (四)機関 (五)所見

一足柄(敵被彈炎上機衝突這二機銃掃射(依ル))

(四)戰死四〇内准士官以上一

戰傷三〇内准士官以上二

(四)二五二番目「左舷水線上二米長廿六米幅二米

破孔ヲ生シ高速時波浪浸入甚シ

(三)中甲板二、一三三火災(後部発射管室下方)

(三)後下部電信室、機械工場、電気工場破壊使用不能

(ハ)高角砲一機銃一機銃照準二破壊使用不能

送信機短四號短五號各一、九〇電話三

空三號隊電一、二號電話二、外全部使用不能

(二)第一二空気を縮小使用不能

(三)補給用蛇管燒失補給不能

(ホ)機ヲ得次第舷側破孔ヲ探照燈送信機換裝

機械電氣各工場ノ修理ヲ要ス 機関全力發揮

可能ニシテ當面作戰行動可能ナルモ無線兵器

電

無

二十九日七二。
水成司令官

二十九日一五三五
南西方面部隊
指揮官

三遊兵部隊
司令官

杉樫樞
聖三聖司令官

修復セザル艦役務差支アリ

警戒部隊電令下第一流閣下

樞、杉樫現狀左ノ通

二十九日〇九。頃「カムラン」湾着見込

(燃料残額 三〇屯以下)

二、大淀ヨリ補給量「分カ」岬回航可能ヲ目途トシ

各艦一〇屯程度ヲ限度トス

三、戦斗並ニ作戦前ノ荒天被害概要

山樞(一)後橋中部(一)ヨリ切断(一)得受受信機使用

不能、長波短波及送信機電波輻射不能

後部系色灯信號灯破壊

(二)一室重油庫機銃彈貫通ニ依リ火災浸水

使用不能 目下一室全カ最大速力二十節

(三)差當リ當面ノ通信航海ニ支障ナキモ機ヲ得

次第修理ヲ要スト認ム

(四)戦死四重傷一七(内准士官以上一)

(五)消耗魚雷二本

無

杉

(一)電波探信儀全部使用不能 水中探信儀作動不具令

(二)復水唧筒使用可能 最大速力二四節

(三)重油タンク破孔漏洩

(四)發射指揮通信裝置 (針路通報及同調定裝

置及電流) 破壞無電池電話使用中 聯裝發

射管一部電燈動

(五)各群指揮通信關係破壞無電池電話使用中 電

(六)乾輪羅針儀追從裝置故障 (誤差不定 (一度

以上) 磁氣羅針儀自差修正未済 連揭信號燈

及艦尾信號燈電路切斷 應急使用中

(七)砲術長及乘組一名缺員 併ヨリ臨時充實中

(八)其他前回戰鬥ニ依ル船体破孔閉塞未了ナシ

モ、等アリ 機ヲ得次第前記人員補充航海

關係兵器及機關修理ヲ行ハザルハ單艦行動

ニ不安アリト認ム

三 水戦司令官 98/10	三 水戦司令官 二十九日一三五	
二 派真部隊 指揮官	三十一戦隊 三十一戦隊 十一行機司令部	三十日〇四五 礼送隊
燃料補給ニ関シ手配ヲ得度 大淀(旗艦)足柄、霞、朝霜、檜 二十九日一四〇〇 (28)	榎、杉、檜、カムラン、湾着	(一) 檜 (二) 五耗單葉機銃一使用不能 爆雷投射機一 毀損 (三) 三ヨリ六 (四) 其ノ他大ナル被害ナキモ作戦前荒天ニ依リ余射 指揮機及方位盤各一使用不能 一式超短波受 話機使用不能 足柄ヨリ使用中 (五) 當直作戦行動ニ支障ナキモノト認め (六) 消耗魚雷四本
無	電 無	

2860

<p>三十日一五五八 五艦隊 參謀長</p>	<p>三十日一四三五 工作部長</p>	<p>二十九日一三〇〇 日榮丸 指揮官</p>	
<p>南西方面長官 聯合艦隊長官 艦隊長官</p>	<p>三十日二二五〇 五艦隊長官 水戰司令官 五戰隊司令官</p>	<p>二十九日一五〇〇 遊軍部隊 南艦隊長官 海護艦隊長官</p>	<p>三三戰隊 司令官 一持根 司令官</p>
<p>本三十日一五〇〇。被発見二伴七空襲茲ニ現在脚 方面潜伏中ノ敵潜約四隻が當地ニ南下蛸目不スベ キハ必然ナルニ鑑ミ下機密第三〇一三五五番電関联 無</p>	<p>實機密第二四一五二番電返 初霜二十六日入渠三十一日出渠 一月三日完成予定 電 無</p>	<p>日榮丸、海一丸號、海二七號 昭南着 電 無</p>	<p>「カムラン」發 三十日一三〇〇。「サンヂヤック」着 三艦（最大速力二十節） 杉（同） 二十四節ハ三艦逐艦長指揮二十九日 夕刻「カムラン」灣發接岸航路 三十日午前 「サンヂヤック」着 三「サンヂヤック」要補給量五二〇。屯 電</p>

<p>三十日(六二五) 二遊重部隊 指揮官</p>	<p>三十日(一五四) 南西方面艦隊 長</p>	<p>三十日(一三五) 五艦隊 參謀長</p>
<p>大津參一部長 十特根司令官 通</p>	<p>三十日(一四三) 多號隊 聯合艦隊長官 大海參一部長 南西方面艦隊長官</p>	<p>南西方面長官 聯合艦隊長官 大海參一部長 南西方面長官 十特根司令官 十特根司令官</p>
<p>21B、(一時EW方面ニ南下ス 通報 P IKF P 14kg 足柄、290、大淀、霞、朝霜)一三。カサンヂヤックに着</p>	<p>NSB 電令作第(一五一)號 十二月三十日附多號作戰部隊ノ編成ヲ解ク</p>	<p>21B 作戰準備上足柄、大淀、霞、朝霜ハ急速 ESニ於テ 消耗、彈藥、魚雷補給、要アリ 尚警戒艦ナキ爲 SS (羽黒)ノ合同モ不可能ナル実情ニ於テ損傷艦ヲ 逐次 ESニ回航修理セシムルハ却テ作戰準備ヲ遲延 セシムルモノト認めルニ付 21B、此ノ際 EWニ回航 GKF機密 第(一八四三)番電ニ基キ急速整備訓練ヲ実施 SS(羽黒)合同當方面ニ進出待機ノ下ニ致度</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>	<p>電 無</p>

6820

三十日。五三

二水戰司令官

三十日。七五

二艦隊長官

二艦隊長官
二艦隊東通
二艦隊東通
二艦隊東通
二艦隊東通

通報、次長、次長、横領長官

一挺身部隊、戦果左ノ通、(十二月二十六日)

大破、中型輸送船二隻、奥雷艇一隻

中破、小型輸送船一隻

中破、同、一隻

奥陸七機「サンホセ」、棧橋物資集積所砲撃

効果不明、不確(天)

二、清和相沈没

三、收容員数

准士官以上、一〇名(司令艦長ヲ含ム)

下士官兵、二〇名

(四) 行方不明者、准士官以上三名

福山(七〇八三) 根氣(ホ四〇六〇) 大木林(ホ四九八)

下士官兵六七八名

2YB、昭南(リングガ泊地)ニ回航、急速修理態ニ備

一、從事スベシ

一、整備期日ハ一月中旬ヲ目途トス

三十日。八二七
二、南西方面艦隊
長官
二、南西方面艦隊
指揮官

電

無

0720

<p>一月廿二日 二 赤部隊 指揮官</p>	
<p>東 通 十 艦隊長官</p>	<p>南 道 長官 三十一 隊 司令官 聯合 艦隊長官 東 南 西 方 面 部 隊 各 長 官 高 原 長官</p>
<p>通報 P 下 大海一部長 P 1KF P 100Bf 着 旗艦ヲ足柄ニ復飯</p>	<p>二 警戒部隊指揮官ハ機宜高雄又ハ馬公ニ於テ 損傷艦ノ修理ヲ実施セシムベシ</p>
<p>電 無</p>	<p>電 無</p>

(36)

四 參考

(1) 戰訓

(一) 艦隊ニ対シ給兵ノ準備ヲ周到ニマルト共ニ之ガ現状速報ニ努ムルヲ要ス 燃料逼迫セル現状ニ在リテハ艦隊ノ行動ハ油槽船ノ配屬行動ニヨリ束縛セラレルコト大ニシテ之ガ補給ニ関シテハ概ネ機敏ニ又置セラレアルモ給兵ニ関シテモ更ニ計画的ナル準備ヲ要ス

特ニ作戰後ノ補給ヲ考慮スル時ハ各種彈藥、魚雷、爆雷等均平衡アル補給準備ニ関シテ了想戰場ニ應ジ適當ナル前進根據地ヲ了定スルト共ニ各根據地ノ補給能力ヲ適時通報シテ艦隊行動ノ決定ニ資スルヲ肝要トス

(二) 敵潜情報、水路資料等ニ基ク艦隊船團等ノ戰畧航路選定ノ適否ハ敵潜ニ依ル被害ヲ左右スル重要ナル要素ニシテ之ガ決定資料ハ強カナル中央機關ヨリ戰訓ヲ織込ミ関係各部ニ速報スルヲ要ス 第三遊撃部隊主力ガ十月下旬内海西部出撃以來十二月末迄ニ敵潜跳梁スル南方海域ノ航海日數ニ五日總航程及。涅中敵潜

(3/)

白寫眞

ナ

ニ遭遇又ハ龍衣車セラレタルハ僅カ一回ニシテ艦隊航路選定、適良ナ
 リシト夜間ノ報時運動巧クナリシニ取因スル所大ナリト認ム
 斯ノ如キ事項ニ関シテ然ルベキ中ノ大機関ヨリ積極的ニ次具料（推
 奨航路等）ヲ速報セバ被害ヲ未然ニ防止シ得ルコト多クキモノト認ム

9520

二		一		日	
		ガ ン リ		在 所	
四七	二一	四七	二八	六午	視気風天 向風速候 界温
二二	二七	二二	二七	六午	
二〇	三〇	二〇	三五	六午	
隊艦五		隊艦合		務任般一	
隊部雲遊二第		隊艦面方西南		務任別特	
練訓備整機待面方ガンリ				主 要 行 動	
五〇〇〇 足柄 昭南 着發				主 要 作 業	
		各科打合セ 砲術 (場所) 通信術 (日向) 防衛術 (伊勢) 航海術 (日向) 電探術 (足柄) 主機計科 (足柄)		事 記	

五作戦経過概要

昭和十九年十二月

第五艦隊

(32)

5720

六		五		四		三	
ガシリ				南 胎			
二九	北西	二五	西	一〇	北西	一〇	二五
四九	北西	二五	西	一〇	南西	一〇	二五
一〇	北西	二〇	南東	二〇	南西	一〇	二〇
二〇	北西	二〇	南東	一〇	南西	一〇	二〇

	一〇四五ノ足柄胎南着 (二八三ノリンガ着)		二〇。羽黒砲塔修理準備工 事終了胎南着 一九。リンガ着
二機密218日令第1号ニ依ル 自土月六日 予定作業開始 至土月五日 各科相互 二一六三。(一八〇)各科相互 整備調査			

	九	八	七
東南曇	三七五	晴	二七
西南曇	一〇	南曇	一〇
西曇	二〇	北曇	二〇

一六〇。日榮丸(艦及機銃)カム 海防艦護衛)カム	一三〇。清霜(水戦旗艦) 胎南芥 一九三。リンガ地方	一八四。朝霜リンガ地方 (五十鈴ノ護衛ヲ中止シ リンガニ集結)	四三〇。58(消息)澤ノ檢數ノ 為リンガ登ル北南回航
二〇。清霜白沙ニ横付ケ機銃 防弾鉸裝備工事ニ従 事	二〇〇。(二三〇〇) 非島沖海戦各部隊 (第一遊撃部隊機動部隊本 隊)作戦経過説明	二〇三。朝霜白沙ニ横付ケ機銃 防弾鉸工事ニ従事	一〇三〇。(三〇〇)巡洋艦部隊魚 雷戦教練 一六三〇。(二八〇〇)各科相互整備 調査 一七三〇。白沙大機銃ニ横付ケ置装 機銃八挺取付工事ニ 従事ス

(33)

一	二	三	四	五
6°54' N	107°1' E			
二六二西晴	二七二東南半晴	二八六北半晴	二九七	一
二〇六西半晴	二〇五東南半晴	二〇八北半晴	二〇八	一
二〇七五南曇	二〇八北晴	二〇四北西曇	二〇八	五

カラムン湾方面

<p>三〇〇北緯六度五分東經一〇七度一分第三駆逐隊 (初霜) 霞合同ス</p> <p>南方面部隊電令作第八八號ニヨル護送部隊編入編下シテ清相介部ニ編入シテ</p>	<p>〇七〇 朝霜 (全隊) 合同ス</p> <p>初霜「カラムン湾」向フ</p> <p>初霜「カラムン湾」向フ</p>	<p>〇九三 朝霜 (水戦旗艦)</p> <p>探照灯修理工事ノ為</p> <p>リングガ奔ニ七〇〇照南着</p>	<p>ラン湾ニ向ケ照南奔</p>
<p>北緯八度 東經一〇五度 分三秒 高被雷</p>	<p>〇八〇 電測水測砲雷</p> <p>〇九〇 戰教練</p>	<p>二〇三 (一一四)</p> <p>対空戦斗教練 (目標機)</p> <p>二空戦斗五機及足柄水偵二機</p>	<p>二〇三 (二四三)</p> <p>機銃研究射撃及機銃員防護對策研究会 (於伊勢)</p> <p>二四九 (三一四五)</p> <p>対魚雷艇戦斗訓練及防禦教練</p>

1520

一六			一五			一四		
			ン			カ		
二	二五	三	南	雲	二	二五	二	北
二〇	二六	八	南	雲	三〇	二六	四	北
二〇	二七	一七	北	雲	二〇	二六	一三	北

機待面方ンラムカ		出 途
二〇。清霜新南群島ヨリ カムラノ坂 七〇。第四駆逐隊(極)杉 橙カムラノ湾入泊		西。2Bカムラノ湾肩
二二五。B三キモ、一機奔見セセモ 間ヒナク見失ス、雲量ハ 敵機、我部隊奔見電傍文 戦艦二隻、重巡二隻、駆逐 艦三隻、北緯二度四〇分、東経 一〇九度二〇分在泊 九四。警戒警報(飛行機 ランモ、探知)		日禁ヨリ急速補給ヲ要ス 施ス 補給量 五四〇。七
	敵島 イノ 上陸 ルン 三敵 二機 襲	ルン 地 艦 襲

(34)

8720

一八	一七
10°-44' N 107°-8' E	11°-54' N 107°-48' E
二六 二四 二二 二〇	二六 二四 二二 二〇
北曇	北曇
北曇	北曇
北曇	北雨

<p>○七一五 初霜 雨段 日暮カカ ラシ湾出港 八。○二八(足柄) 大波清霜 朝霜(カシヤ)ニ回カカ ○第四(足柄) 榎(榎) 榎 カムラン出東 物電令係第ハ九号ニヨル 「サ」ホセ」突入ニ回ヒタルモ 荒天ニヨル被害アリ 榎 故障 損モアリ 突入成リ 見込立タス一應カシヤ ノニ回航」</p> <p>二五〇 榎(足柄) 榎 榎 朝霜(カシヤ)ニ回カカ 岸ヨリ補給セントス 陸上見張ヨリ 敵大艇機七 機(カシヤ)ノ北三。榎 ニヨリ 港外ニ出動セシ</p>	<p>一九四五 空襲警報 探知七是敵機未襲</p>
<p>二五三 空襲警報 令</p>	<p>榎(榎) 榎 榎 護衛) 妙高 救難ニ回</p>

6710

二	二	一九	
クツマジンサ			
八北	二七北	四五北	一
七北	一〇三九北	一〇五七北	二〇
七北	一〇五	二〇七三北	二〇

<p>二七三。反転 九一五。日栄丸ヨリ補給</p> <p>七三。南洋外入泊 日栄丸ヨリ補給</p> <p>七五。第四十二駆隊隊八機 機 (Rionotekasei 湾) (サンニヤ ツク東方七。運) ヨリ命同ス (日栄丸ヨリ補給)</p> <p>三〇。ASB 電令係第六号ニ関 肝妙高サ護衛中 (二二。) 推定位置北緯五 度。分東経一〇四度四。分 霞ニ急務ガサンニヤツ。版 校ヲ命ス</p> <p>二七三。邦旗艦ヲ一時足柄ヨリ 日向ニ変更ス 六三。長身部隊 (指揮官 等) 水雷隊隊司令官</p>		
<p>二二五。 二二五。 二二五。 空襲警報 西貢地区空襲 警報 併命</p>		<p>二〇三。 二四三。 二二五。 二二五。 二二五。 空襲警報 機一機奔見</p>

(35)

二四	二三	二二	
----	----	----	--

二四 四	北東 二四	曇 二四	北東 一九	曇 二四	北東 一四	曇 二四	北東 二四	曇 二二	二二
二〇 二四	北東 一七	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	二〇
二〇 二五	北東 一五	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	北東 二五	曇 二〇	二〇

<p>元々。礼号作戰担身部隊 (ノ霞 足柄大渡清霜朝 霜 樞 櫻 柵) カムラニ 出 雲</p>			<p>兵カ、足柄大渡清霜朝 霜 杉 其他一部カカムラ 向 樞 櫻 柵 八日 栄丸ヲ護衛 別 動 カムラニ 湾ニ向フ</p>
			<p>一五二。 警 戒 警 報</p>

1940

二六	二七	二六	二五
----	----	----	----

二八北曇	二七五北東曇	二七九北東晴	二五七北東曇
二七九北曇	二〇二北東曇	二〇七北東晴	一〇二北東曇
二二北曇	二〇八北東曇	二〇九北東曇	一〇七北東曇

(戦 作 號 禮)

		<p>529 (A) 樞心繪 (カダシ) 湾着 三〇 挺身部隊 (カ) 示也 突</p>	<p>三三〇 妙高 護衛 羽 黒初霜 昭南 着</p>

196

三	三	二九	
7°-47' N 104°-15' E			
四	二六	六	南東
三〇	二七	三	北東
三〇	二七	三	南東
四	二五	一	北東
二〇	二六	六	北東
二〇	二九	三	南西

<p>〇九三五 足柄 本隊ニ合同 二一〇。頃北緯五度。分東 経一〇三度五。分ニ於テ艦隊 ハ連續三回ニ互リ清水水艦 ノ雷雲ヲ度テタルモ之ヲ回 避 彼害ナシ</p>	<p>二七三。二五 (夕刻) 大波 霞 朝霧 胎南 (リ) 三回ケカシシ 足柄 補給 後 追 及</p>	<p>二三五 挺身部隊 中 別 動 中 樞 樞 杉 柯 カ 三 灣 飯 着 足柄 大波 ヲリ 急 速 燃 料 補給 二四〇 挺身部隊 コガシヤツ クニ 同 ケ コ ハ ラ ン 灣</p>
	<p>二四二。一機 發 見 二四三。空襲 警 報 發 令 二四三。二 (四三) 対空 戦 斗 二五。二 空襲 警 報 解 除 八五。足柄 明 石 丸 二 横 付 補給 ラ ナ ス</p>	

(終)

別紙第一

機密 NSB 支援部隊命令第一六號

昭和十九年十二月四日

NSB 支援部隊指揮官 志摩清英

支援部隊命令

當部陳研究會委員長ヲ別紙通改ム

(終)

8970

支那研究會

機密 NSB 支援部隊命令第六號別紙
 支援部隊研究会委員長

本委員 長	研 究 會
第五艦隊參謀長	兵 術
第五戰隊司令官	電測術、機關術、防禦(應急運用、電機工作術)
第一水雷戰隊司令官	水雷術(對潛水艇戰術) 機雷術、水測術
第四艦隊司令官	砲術、航海術、通信術(信號)
足 板 艦 長	航海術、通信術(摩里信)
艦隊軍醫長	醫務科 一般
艦隊主計長	主計科 一般

(終)